

18歳意識調査 「第5回 - 障害 -」調査報告書

日本財団 2018年12月3日

目次

調査概要	3
障害者との接触	5
手助けをした経験	6
手助けをした理由	7
手助けをしなかった理由	8
障害者の雇用率が定められていることの認知	9
障害者人数・障害者雇用率 認知	10
障害者の雇用機会は充分と思うか	11
障害者雇用率の水増し報告認知	12
水増し報告に対しての是非	13

調査概要「18歳意識調査」 - 障害 -

調査対象 全国の17歳～19歳男女

回答数 800
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	130	136	134	400
女性	130	136	134	400
計	260	272	268	800

調査除外 下記の関係者は調査から除外
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/
情報提供サービス・調査業/広告業

実施期間 2018年11月8日（木）～11月12日（月）

調査手法 インターネット調査

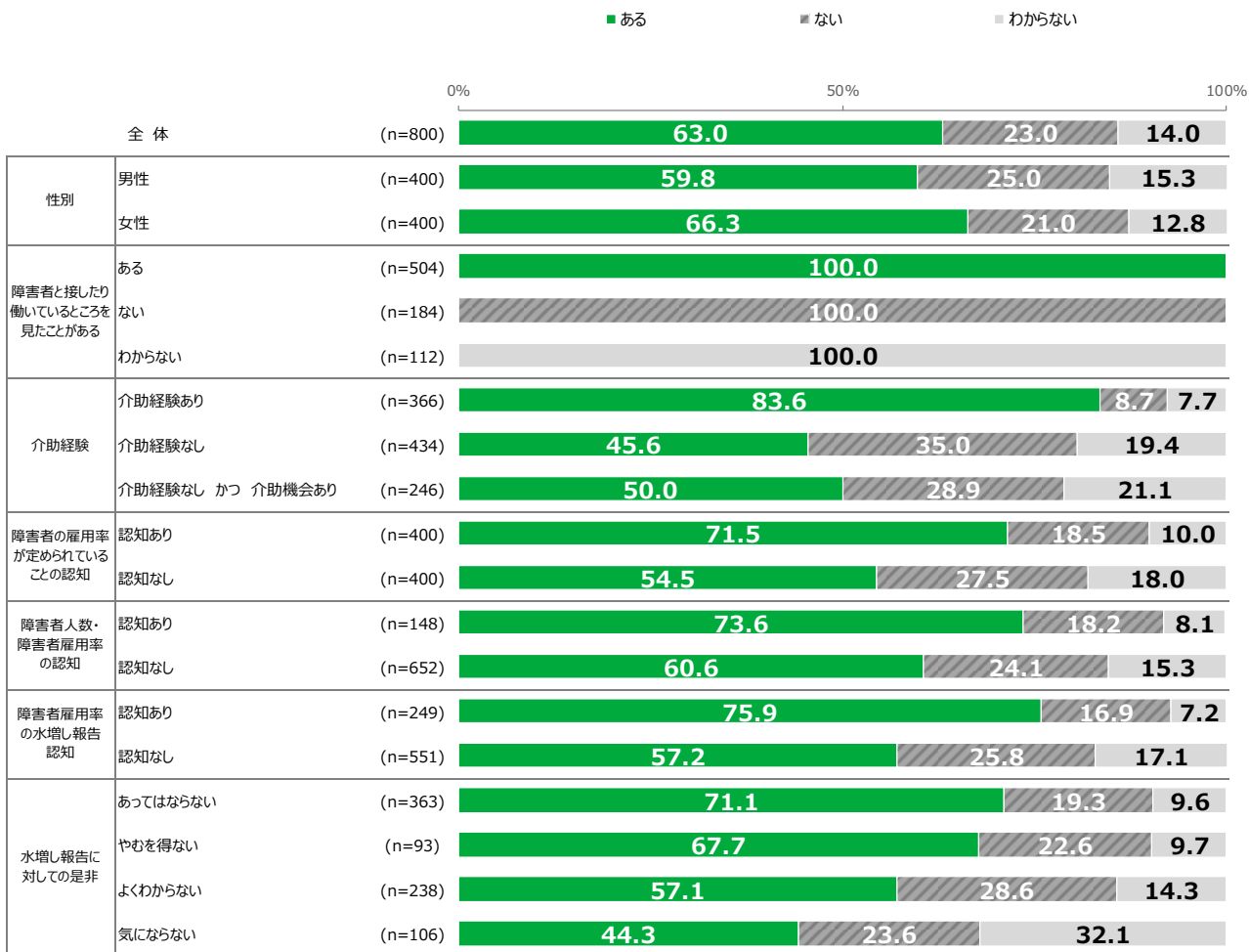
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

調査報告書

障害者との接触

- これまでに障害のある方と接したり、働いているのを見たことがある人は全体の63.0%。

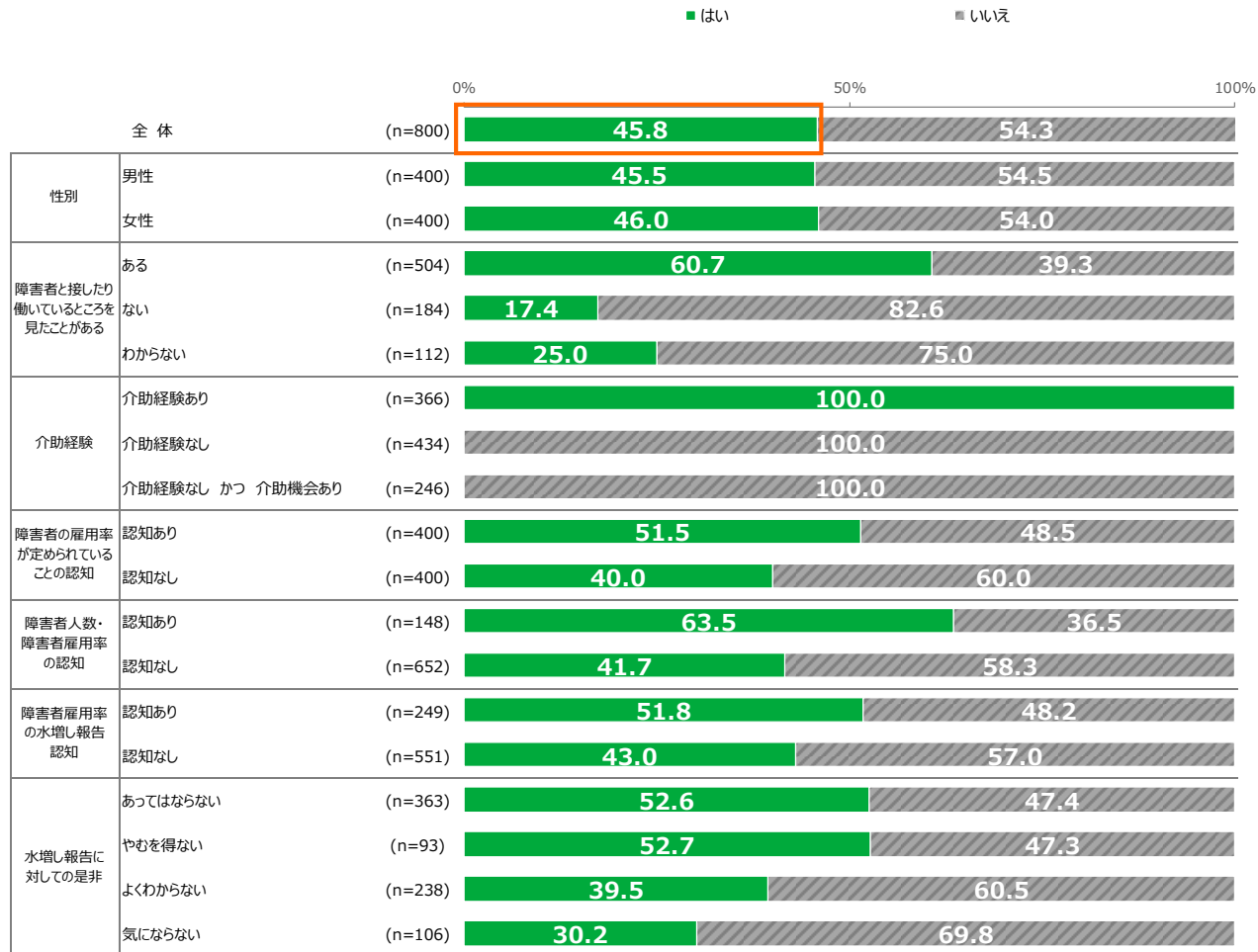
Q1 あなたは、これまでに障害のある方と接したり、働いているところを見たことがありますか？



手助けをした経験

- ・ 介助経験がある人は45.8%にとどまる。

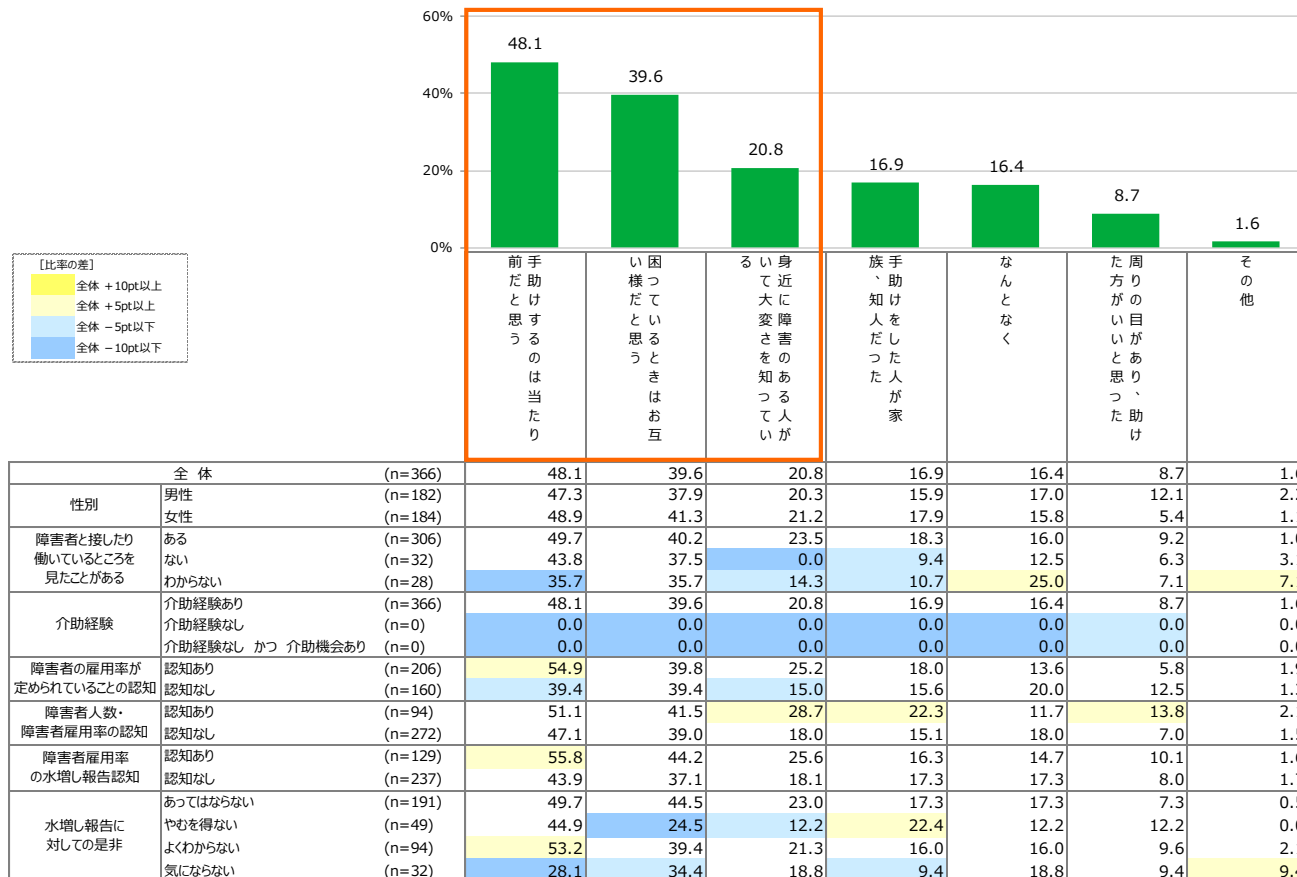
Q2 あなたは、障害のある人が困っているときに手助けをしたことがありますか？



手助けをした理由

- 手助けをした理由は、「手助けするのは当たり前だと思う」（48.1%）がトップ。
- 次いで「困っているときはお互い様だと思う」（39.6%）、「身近に障害のある人がいて大変さを知っている」（20.8%）が上位に挙がる。

Q3 では、手助けをした理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。（複数回答）
※手助けをしたことがある方のみ回答

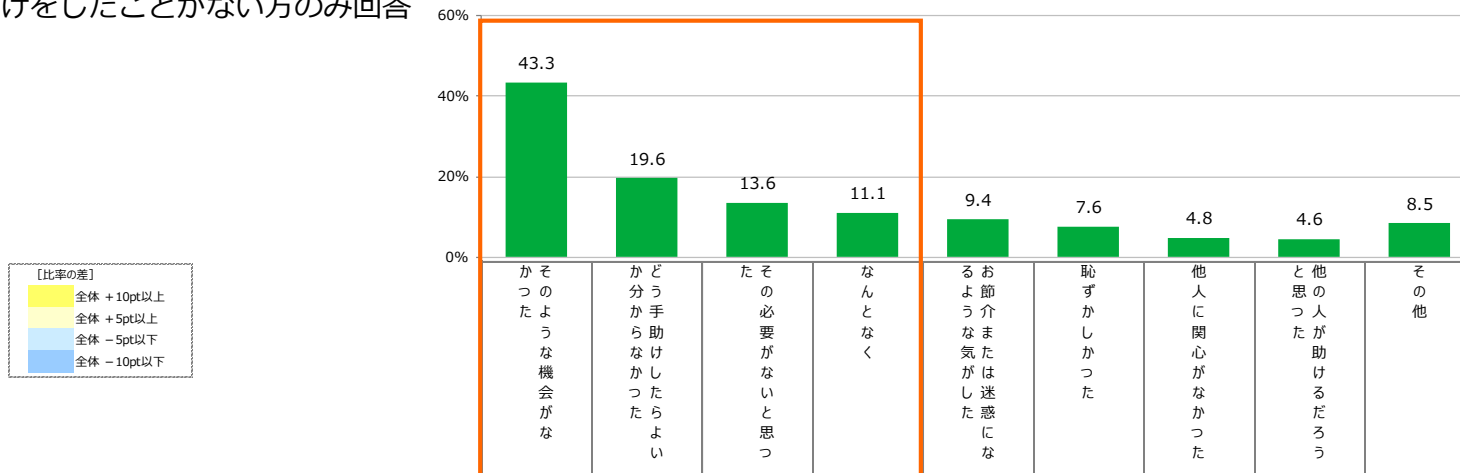


手助けをしなかった理由

- 手助けをしなかった理由は、「そのような機会がなかった」(43.3%)がトップ。
- それ以外では、「どう手助けしたらよいか分からなかった」(19.6%)、「その必要がないと思った」(13.6%)、「なんとなく」(11.1%)が上位に挙がる。

Q3 では、手助けをしなかった理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。(複数回答)

※手助けをしたことがない方のみ回答



全体		(n=434)	43.3	19.6	13.6	11.1	9.4	7.6	4.8	4.6	8.5
性別	男性	(n=218)	40.4	15.1	14.2	16.5	7.8	7.3	6.0	6.0	11.0
	女性	(n=216)	46.3	24.1	13.0	5.6	11.1	7.9	3.7	3.2	6.0
障害者と接したり働いているところを見たことがある	ある	(n=198)	37.9	27.3	21.7	7.1	13.1	9.6	6.1	6.6	4.5
	ない	(n=152)	53.3	12.5	6.6	12.5	6.6	7.2	3.3	3.3	9.2
	わからない	(n=84)	38.1	14.3	7.1	17.9	6.0	3.6	4.8	2.4	16.7
介助経験	介助経験あり	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介助経験なし	(n=434)	43.3	19.6	13.6	11.1	9.4	7.6	4.8	4.6	8.5
	介助経験なしかつ介助機会あり	(n=246)	0.0	34.6	24.0	19.5	16.7	13.4	8.5	8.1	15.0
障害者の雇用率が定められていることの認知	認知あり	(n=194)	46.4	20.1	20.1	5.7	10.3	7.2	6.7	3.1	4.6
	認知なし	(n=240)	40.8	19.2	8.3	15.4	8.8	7.9	3.3	5.8	11.7
障害者人数・障害者雇用率の認知	認知あり	(n=54)	46.3	11.1	16.7	7.4	13.0	11.1	7.4	7.4	7.4
	認知なし	(n=380)	42.9	20.8	13.2	11.6	8.9	7.1	4.5	4.2	8.7
障害者雇用率の水増し報告認知	認知あり	(n=120)	41.7	20.0	25.8	7.5	11.7	7.5	5.8	5.8	5.8
	認知なし	(n=314)	43.9	19.4	8.9	12.4	8.6	7.6	4.5	4.1	9.6
水増し報告に対する是非	あつてはならない	(n=172)	53.5	22.1	15.7	4.7	9.9	7.0	4.7	2.9	5.8
	やむを得ない	(n=44)	31.8	18.2	22.7	11.4	18.2	11.4	9.1	9.1	6.8
	よくわからない	(n=144)	38.2	22.9	11.8	14.6	8.3	9.0	2.8	4.9	6.9
	気にならない	(n=74)	36.5	8.1	6.8	18.9	5.4	4.1	6.8	5.4	18.9

障害者の雇用率が定められていることの認知

- 障害者の雇用率が定められていることは、50.0%が認知。
- これまでに障害者と接していたり、介助経験がある人は、それ以外の人に比べ認知率が高い。接触経験や介助経験がある人は、障害者の雇用への関心度が比較的高いことがうかがえる。

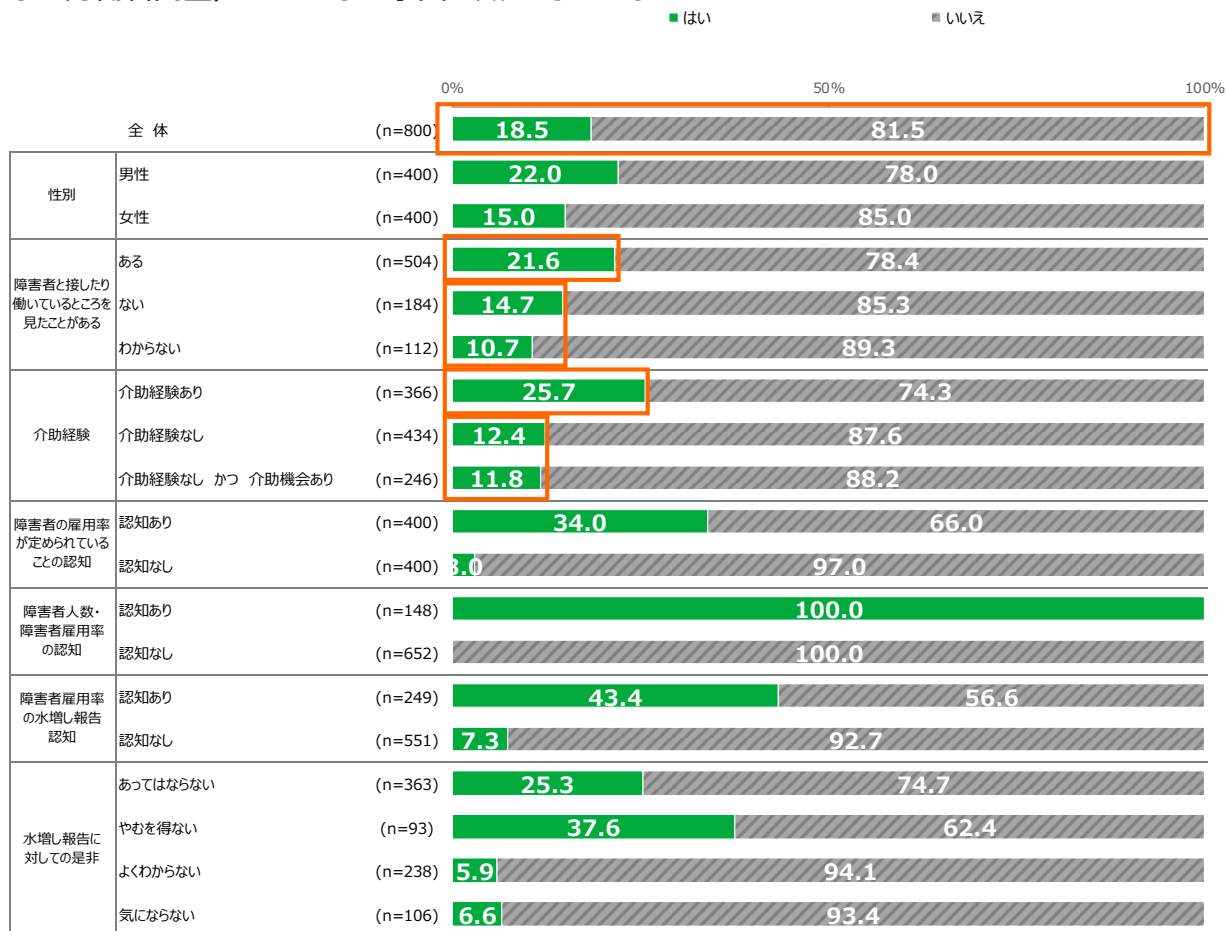
Q4 法律で障害者の雇用率が定められていることを知っていますか。



障害者人数・障害者雇用率 認知

- 81.5%が、障害者人数や障害者の実雇用率を知らない。
- これまでに障害者と接していたり、介助経験がある人は、それ以外の人に比べると認知率が高い。

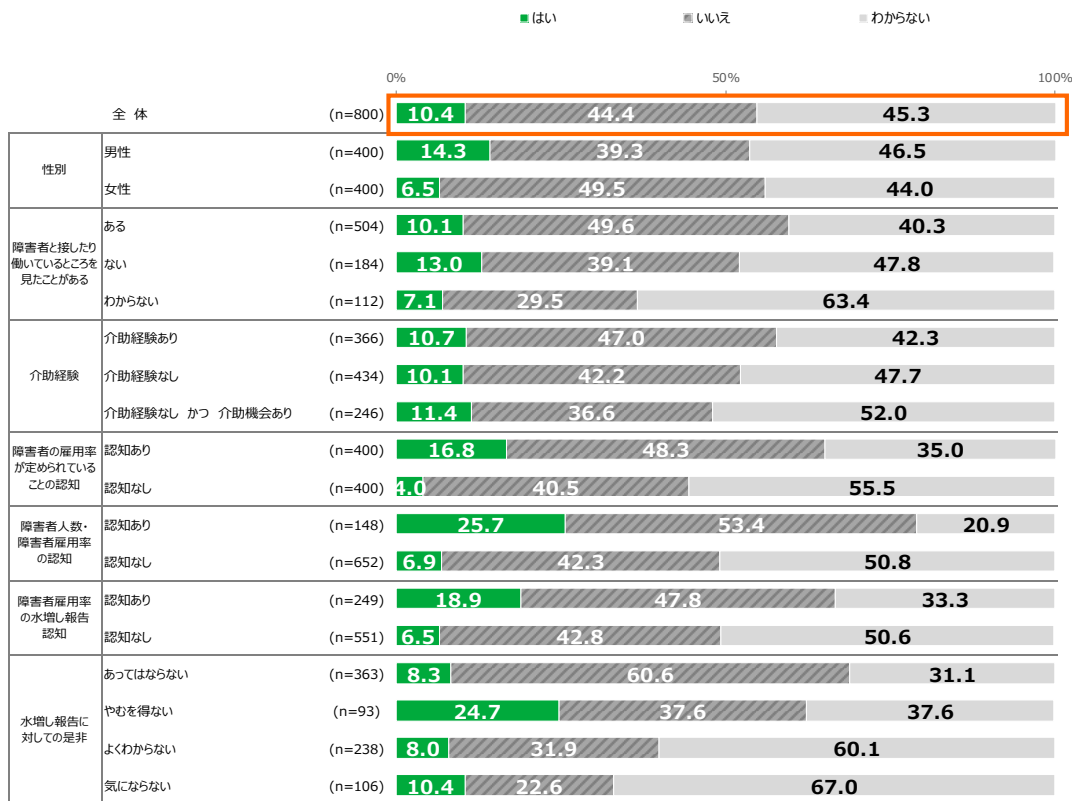
Q5 日本で障害がある人は、人口の約7.4%、約936万人に上り、民間企業の実雇用率は約1.9%となっています（平成28年厚生労働省調査）。こうした事実を知っていましたか。



障害者の雇用機会は充分と思うか

- 法定雇用率を聞いて、障害者の雇用の機会が充分確保されていると回答した人は10.4%。44.4%が充分ではないと感じている。
- 最も多かった回答は「わからない」（45.3%）となっており、障害者の雇用について関心の低さがうかがえる。

Q6 法で定められた民間企業の法定雇用率は2.2%となっています。
あなたはこの数字を聞いて、障害者の雇用の機会が充分確保されていると思いますか？



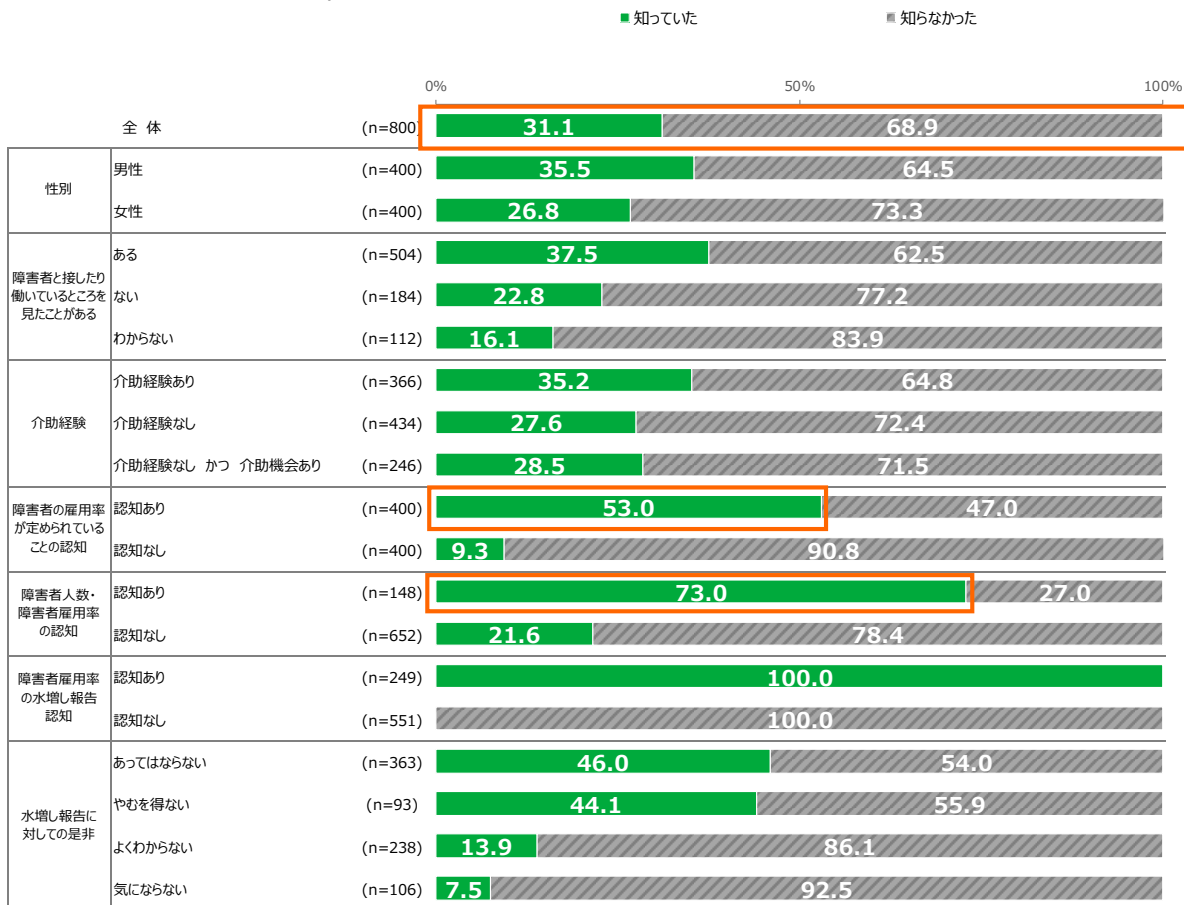
【障害者の雇用機会について「自由回答集」】

https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/img/17.pdf

障害者雇用率の水増し報告認知

- 水増し報告を知っていた人は31.1%にとどまる。68.9%が知らなかったと回答。
- 障害者の雇用率が定められていることを知っていたり、障害者人数や実雇用率を知っている人は、それ以外の人に比べて水増し報告の認知率が高い。

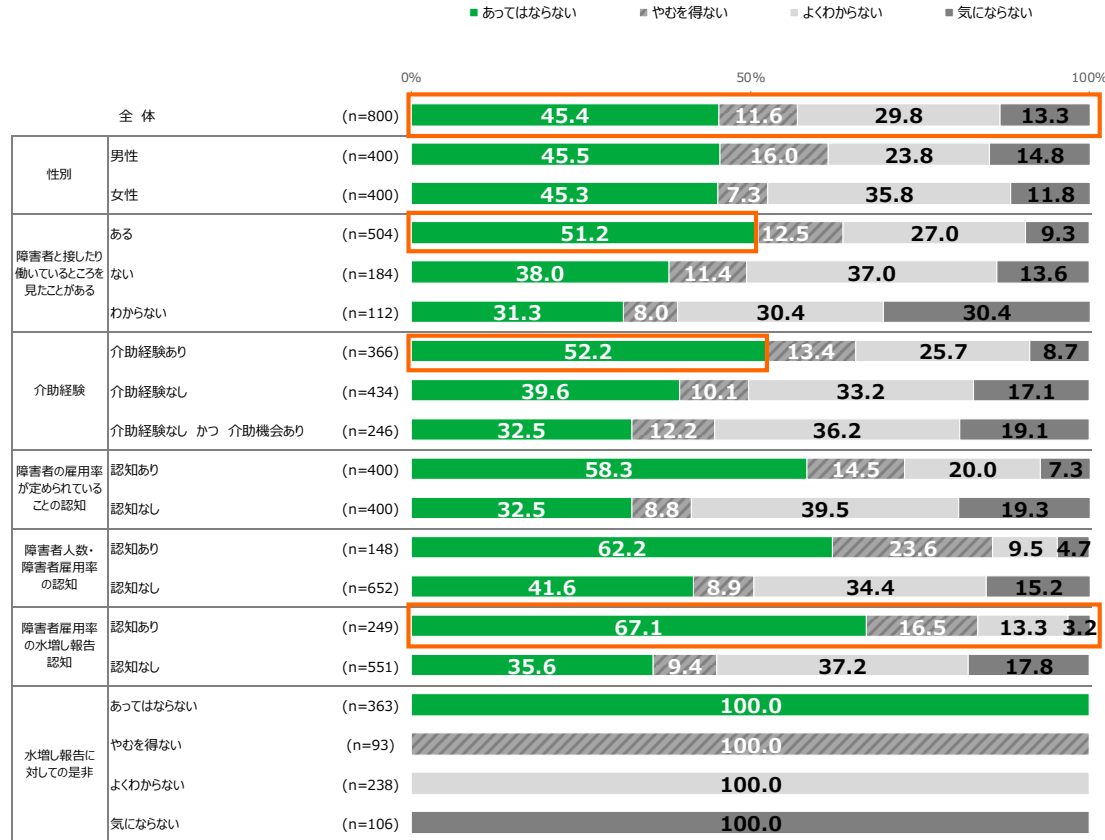
Q8 法で定められた国、自治体の雇用率は今年4月から2.5%となっています。（法律で義務付けられている雇用率）この雇用率を満たすために、水増し報告されていたことが明らかになりました。こうした事実を知っていましたか？



水増し報告に対しての是非

- 全体の45.4%が「あってはならない」と回答。「やむを得ない」は11.6%。
- 水増し報告を知っていた人の中では、67.1%が「あってはならない」と回答した。
- これまでに障害者と接していたり、介助経験がある人は、それ以外の人に比べ「あってはならない」の割合が多い。

Q9 では、国や自治体が障害者の雇用率を水増ししたことについて、どう思いますか？



【水増し報告の是非について「自由回答集」】

https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/img/18.pdf